



Shinkoh News

—川口新郷工業団地協同組合—



平成16年6月19日「長瀨ライン下り」 第3回秩父札所めぐり

'04 OCT.65

発行日／平成16年10月6日 発行／川口新郷工業団地協同組合 発行責任者／石川義明 編集責任者／矢野剛

団地内ニュース

◆テレビ埼玉で放送

石川義明理事長が社長に就任している石川金属機工さんが平成十六年七月二四日に川口市の元気企業として紹介されました。

番組名「埼玉ビジネスウォッチ

モノづくりリポート

「铸件の町の元気企業に迫る」

キューボラのある街として全国的に知られる当川口市、一九六〇年代に比べ約四分の一にまで铸件工場が減少した今、伝統の地場産業の灯を守り続け、国内最大級の銅合金铸件を作り出す元気な铸件工場として石川金属機工さんが取材されました。



番組では、国内二社のみ製造「七トの大铸造」現場の紹介、石川義明社長より経営ビジョンが熱く語られました。一部を紹介いたします。

「中小企業では、今のところ、勝ち組・負け組は無いと思う。当社の場合、韓国や中国の追い上げの中、少量多品種生産に特化、技術ではそれらの国よりも優位を保っており、生き残り組といえるのではないかと思っている。」

「現在、造船関係の部品供給が多いが、三年もしくは三年半後には新技術を取り入れながら、どのような業種をやるか考え、本当の意味での勝ち組を目指す。」

その他、会社内部として雇用問題、社外部としては環境問題などを述べられました。



◆ケーブルネット埼玉で放送

前理事長森敬介さんがケーブルネット埼玉で紹介されました。

番組名「ふれあいステーション

田代しんたろうの

アートの現場へGO!

平成十六年七月二日から一週間紹介される。

田代氏が、森敬介さんのアトリエを訪問、色々と取材。



「前は人物画を描いていたが、モデルさんと呼んだ場合、時間の制約があり、迷惑をかける事になるので、待っていてくれる風景画が主体になってきた。」

「風景画と言っても、ありのままに描くのではなく、自分なりに、無い方がいいと思うものは省き、あったらいいなと思うものを加えて描いている。」

「褒められることが励みになる。」

「題材は、今まで外国の風景が多いが近々当地川口を題材にしてみたい。」

など、若々しく率直に話された森前理事長でした。

また、取材時に作成中であつた作品が二〇〇四年「一水会展」(開催・東京都美術館、期間・九月十八日〜十月三日)において、一昨年に続き名譽ある「安井曾太郎奨励賞」を受賞しました。

この賞により「会友」から「会員」

になられるとのこと、誠にありがとうございます。



◆テレビ東京で放送

二木屋さん(当組合員である株式会社サイの小林玖仁男社長が経営)が平成十六年九月二五日にテレビ東京で紹介されました。

番組名「出沒!

アド街ック天国」

出沒したのは旧浦和市、料理のみならず全てのジャンルについて、ベスト三十が紹介されました。

その中で、二木屋さんはなんと十一位でした。ちなみに第一位は「サツカー」。アテネオリンピックが終わったばかりであり、つい順位にこだわってしまいましたが、会席料理関係では金メダルといえます。

小林玖仁男社長(二木屋亭主)の今回放映についての本音と決意です。

今までも何回かテレビのお話を頂きました。大変名譽なことですが、ほとんどお断りしてまいりました。何かと申しますと、「グルメ番組に出演すると、新しいお客様がたくさんお見えになり日頃のお客様が入れない。毎日忙しすぎてサービスも料理も落ちる。しかもテレビの影響はすぐに終わり、ブームが過ぎるとご常連様は離れ、味とサービスが落ちていた。ということが良くある。だからテレビは気をつけなさいよ」と、老舗の料理店オーナーからお聞きしていたからです。

私ども二木屋は「地域文化に貢献したい」と思っておりますので、「町おこし系の番組」のお誘いはとてもうれしくて、掟を破ってしまいました。そのかわり忙しくなってもクオリティを落とさせないように肝に銘じております。

国登録有形文化財がお店



◆平成十六年度新任教師

団地内で実地研修

川口市教育委員会の依頼により、今年度採用され市内小中学校に配属された新任教師十名が、八月二五日及び二六日、当団地にて「異業種企業における二日間体験研修」を行いました。

受入された組合員さんおよび研修内容は次のとおりです。



素焼の極上ステーキ



お出迎え

以上テレビ放映三本につきまして、ご希望の方にはビデオテープをお貸しします。組合事務局までお申し出下さい。

○石川金属機工(株)

受入人数 三人

作業内容 砂型造形、機械加工



同日受入れの小学生

○(株)明光社

受入人数 五人

作業内容 製本、パソコンによる印刷前工程・印刷



人づくりの教師がものづくりの当団地で貴重な体験をされたと思います。また、受入組合員でも、研修とはいえ、現場の者が作業の手順を教えることでのいい刺激を受けたとの話がありました。

これからも、地域交流を重ね当工業団地を保全するためにも、機会を捉え組合員の皆様に地域交流の場をご案内していきたいと思っております。受入組合員にとって、少なからず負担が生じるかと思いますが、よろしくお願いたします。

「高齢者雇用安定法」の改正について

一、施行時期
平成十八年四月一日から施行

二、背景および目的
少子高齢化社会の到来と共に、企業にとっては労働力並びに人材の確保が急務であり、豊富な経験や知識・技術などを持つている高齢者の有効活用と働く環境整備が重要な課題となっています。

また、一方では、厚生年金の支給開始年齢の引き上げに伴い、雇用延長制度の導入に向けて、今回「高齢者雇用安定法（高齢者等の雇用の安定等に関する法律）」が改正施行されることになりました。

なお、同法は従来から定められており、指導的な位置付けでしたが、今回の改正で義務付けられることとなります。

三、主な内容

- ア、継続雇用の方法
次のいずれかの措置を講じること。
①六十五歳までの定年の引き上げ
②六十五歳まで継続雇用制度の導入（希望者全員）
③定年の定め廃止
イ、定年の引き上げ、継続雇用制度の年齢

年金支給開始年齢の引き上げに併せて段階的に実施。

- ①六十二歳
平成十八年四月～平成十九年三月
②六十三歳
平成十九年四月～平成二十年三月
③六十四歳
平成二十年四月～平成二十五年三月
④六十五歳
平成二十五年四月以降

例外 中小企業に対する経過措置
継続雇用制度の導入に当たっては、法施行日から五年間（平成二十三年三月三十一日まで）労使協定でなく、就業規則で継続雇用制度の対象となる労働者の選別基準を設けることが可能です。

「電力委員会」より

委員長 萩原伸宜

○最大電力の電力調整およびピーク時間の調整ご協力へのお礼
今年の記録的な猛暑に当り、最大電力の大幅な超過が懸念されましたが、組合員の皆様のご協力により、最大電力は小幅な超過（二八KW）で収まり、また、三ヶ月間に亘って実施していただきましたピーク時間の調整（午後一時から三十分間）も目標通り達成できました。
ご協力有難うございました。

○変電設備の点検に伴うお願い
変電所の定期点検並びに保守管理のため、「団地内停電」を次のとおり実施させていただきます。

平成十六年十月三十一日（日）

組合員の皆様にはご迷惑をおかけしますがご理解ご協力をお願いいたします。

「総務委員会」より

委員長 矢野剛

○視察・親睦旅行のご案内
今年度の視察・親睦旅行が決定されました。

一、実施日

平成十六年十月三十日（土）
～三十一日（日）

二、旅行先 山梨方面

三、日程

【第一日目】
新工会館前

「山梨県立美術館」

「ミレーの美術館」として有名。館周辺は公園となっている。

「武田神社宝物殿」

武田信玄の居館跡

武田三代の遺品を収納展示

（河口湖）若草の宿 丸栄
早めに宿に到着、くつろぐ。

二〇〇二年、全館新しくなつてグラントオープン
最上階「見晴らし露天風呂」より富士山と河口湖の眺めが楽しめる。

【第二日目】

宿を遅めに出発
河口湖湖畔を自由に散策できます。サントリー登美の丘

「山梨ワイナリー」

新工会館前

四、参加費 二万円

組合員皆様の多数の参加をお待ちしております。

「事業委員会」より

委員長 大槻稔

今年度「合同清掃」を左記のとおり実施させていただきます。

平成十六年十月十五日（金）

団地全体の環境整備を図るためにも、皆様ご協力をお願いいたします。

「企画委員会」より

委員長 小林玖仁男

組合ホームページの見直し、新郷工業団地入口アーチ再塗装に際しての一般的な検討および平成十七年度助成事業に対する利用要望などの活動を行っております。

第三回秩父札所巡り

去る六月十九日に、第三回秩父札所巡りを実施しました。

当日は、二回目同様の好天気に恵まれ参加者も一名増え二十名で一路秩父路に、今回は、札所巡りを始める前に、荒川を豪快に流れる長瀬ライン下り（表紙に掲載）を楽しみ、しばしの涼を求めました。
ライン下りでは、水面からそびえ立つ岸壁や深い緑を堪能する中、盛大に清流を浴び「これで身も心も清くなった」とはI氏の弁。

長瀬ライン下りを終え、本来の目的である札所巡りへ、今回は白い土塀の山門をくぐると本堂があり、本堂の右の回廊には四国八十八ヶ所霊場の本尊を模した木像が並んでおり、これを拝めば四国遍路をしたのと同じ功德を得ることができると言う十六番西光寺、住宅地に囲まれ、野寺の趣を残し、周囲の回廊に見事な動植物の描かれた十七番定林寺、大きな一枚岩の上に建つ、秩父札所最古の観音堂の十九番龍石寺、荒川の断崖に建てられており、鬱蒼とした緑の中、唐様の姿を見せる観音堂の二十番岩之上堂、別称、矢之堂には平将門が戦勝祈願に矢を納めた、日本武尊が東征の折り鎬矢を納めたなど諸説がある二十一番観音寺、畑に

座禅体験と精進料理の会

先の、第三回秩父札所巡りの帰りの車中にて納涼会の話が出、(株)川口鍛冶所の石田昭会長提案にて「普通の納涼会よりもお寺にて座禅の体験と精進料理を食べに行つたらどうか」との提案を受け一同の賛同を得て実施となりました。

石田家の菩提寺である、鳩ヶ谷の「法性寺」のご紹介により、場所は横浜市鶴見区の曹洞宗大本山「總持寺」に九月四日実施と決定、早速参加者を募集した所、お寺で座禅と言う地味な？募集にもかかわらず二八名の申し込みを頂き実施と相成りました。

当日は、今にも雨の降りそうな曇り空、神奈川方面は雨との予報の中

出発、車を進め三郷ジャンクションまでは若干の渋滞がありました。が以後は車の流れも順調で予定通り十時には總持寺に到着、雄大な山門を見ながら香積台（受付）で受付をすませ堂内を拝観、百間廊下（毎日磨いているので像が写るほど）、仏殿等を拝観し寮へ、本来は修行僧の学問所とのことですが一般参禅者の座禅道場として解放されているそうです。薄暗い寮内にて座禅の心構え作法を教わり約三十分座禅体験、静かな中、蟬の声と案内役の僧侶の草履の



座禅



精進料理

音だけが響く、長いような短いような体験をすませ、再び堂内拝観、放光堂、大祖堂（畳千畳敷）、茶室の倚松庵、書院の紫雲台等拝観し香積台に戻り、点心をいただきました。

本格的な精進料理は初めてで、器は質素ですが趣向を凝らした料理が並び参加者一同、箸が進み有り難く頂戴いたしました。
食事を頂き、出発までの短い時間再度堂内を散策、故石原裕次郎氏の墓所の見学など思い思いに楽しみ總持寺を後にし、川崎大師をお参りして、帰路につきました。

企画から手配までご尽力いただいた石田昭先達にお礼を申し上げ終わりたいいたします。

（事業委員長 大槻 稔）



二十番岩之上堂

投稿コーナー

リストラ

リストラという言葉がマスコミは安易に首切りと訳すが、首切りは許されざる社会悪、犯罪である。

企業経営者のモラルハザードが論じられて久しいが、自分の失敗、無能が故に企業を危機に追い込み、自分は安全圏に身を潜め、社員の首を切つて生き残りを策すなど、モラルハザードの最たるものと知るべきである。

厳しい時代だから企業の存続を図る為にはリストラもやむを得ないなどと、厚顔無恥な経営者は弁を弄するかも知れないが、そんな手合いに聞かせてやりたい話がある。

A社長のモットーは「社員を大切に」である。
縁あって一緒に働く事になったのだ、社員を泣かす事など出来ないと彼は何時も言っている。

リストラなどと言う言葉は彼の頭の片隅にもない。大事にされるからそれに報いねばと社員は頑張る。デフレだの不景気だのというのは何処の世界の事だとばかりA氏の会社は大躍進を続けている。

それを身近に見ているから私は自信を持って、「リストラなどすれば自分で自分の首を閉めているだけだ。」

グローバルスタンダードなどという怪しげな横文字に惑わされること無く、今こそ日本企業の原点ともいえるべき美しい家族主義的経営に立ち返れ」と言い切れるのである。

リストラが社会に及ぼす弊害は余りにも大きい。いじめ、学級崩壊等々の少年非行もその元を探ればリストラに辿り着く。真面目に会社へ通っていた大好きな親がある日突然、理不尽にも会社の都合で辞めさせられれば、いい子であればある程大人社会に怨みを抱き反抗する。教育問題はさして難しくはない。リストラと言う名の善良な弱いものいじめを無くせば世は正常に戻る。

いい社会、まともな社会とは一体どんな社会を言うのだろうか。
ここで立ち止まって考えてみる必要がある。真面目にコツコツと働いていれば、そう贅沢は出来なくてもそれなりに家族そろって幸せな生活がおくれる。

それがあべき姿の社会である。
二十一世紀は地球に優しい世紀だなどと言われるが、これ程虚しく響く言葉は無い。経営者にとって最も近くに居るのが社員である。社員に優しく出来ないでどうして地球に優しく出来るか、と言いたい。

(匿名希望)

ボージョレ・ヌーボ

フランスのボージョレ地方で産出するヌーボ（新酒）は、例年九月上旬に収穫した葡萄からワインを作り、その年の十一月第三木曜日に全世界一斉に発売する習わしだ。

この地方の葡萄はガメ種が多く、フルーティでフレッシュな味わいのワインができる。その為に瓶熟の重要度は低い。（一部の通と自称している人達は充分瓶熟させていないワインはワインとして認めないとも言っている）

成熟期に酷暑・乾燥が続いた年は、収量は落ちて葡萄果汁の糖度が高く最高の品種が生まれると言われている。

昔から日本人は初物を珍重してきたが、最近では温室栽培の普及や南半球からの輸入で、野菜や果物に季節感がなくなりつつあるも、初穂を神社に奉納し、「初物を食べれば寿命が七十五日延びる」と言い伝えられるお国柄である。

ボージョレ・ヌーボは世界市場で同日に売り出される真正銘の初物である。

しかも、解禁日当日と言っても、八時間の時差があるので本場のフランスよりも日本のほうが早く購入できる、即ち其れだけ早く味わえることになる。

なる。

ワインは香りや味に加えて、蓋蓋を傾けながら楽しい時間をすごせるのが良い。新酒を飲むと本当に寿命が延びるのか、自分で確かめる術は無いが毎年挑戦してみたい。

(A・I)

ご紹介

健康ランド「武蔵野」

川口市柳崎 一―二二―

☎ 〇四八―二六二―六一―

年中無休

・岩風呂（二四時間営業）

・北海道長万部、二股温泉の湯

・宴会場

・カラオケルーム・ボックス

・ゲームコーナー

・ボデイケア

・焼肉レストラン など

皆様の会社での福利厚生、家族サービスにお役立てください。

また、入館ご優待券もご用意させて頂いていますので組合事務局までご連絡ください。

（入館料一九九五円（税込）の所、ご優待券で一六八〇円（税込）の割引になります。）

